

<AG5 日本人学校におけるバイリンガル・バイカルチュラル人材育成のための
プログラム開発とそのための教員研修のプログラム開発>

2019.2.21

日本人学校日本語力向上プログラム研究会 @マニラ日本人学校

これからの日本人学校

～バイリンガル・バイカルチュラルの子どもと共に～

AG5運営指導委員・目白大学専任講師
近田由紀子

本日の内容

日本人学校に就学する子供たちへの期待

AG5日本語力向上プログラム
(台北・台中・マニラ・大連・青島)
各校の取組・成果と課題

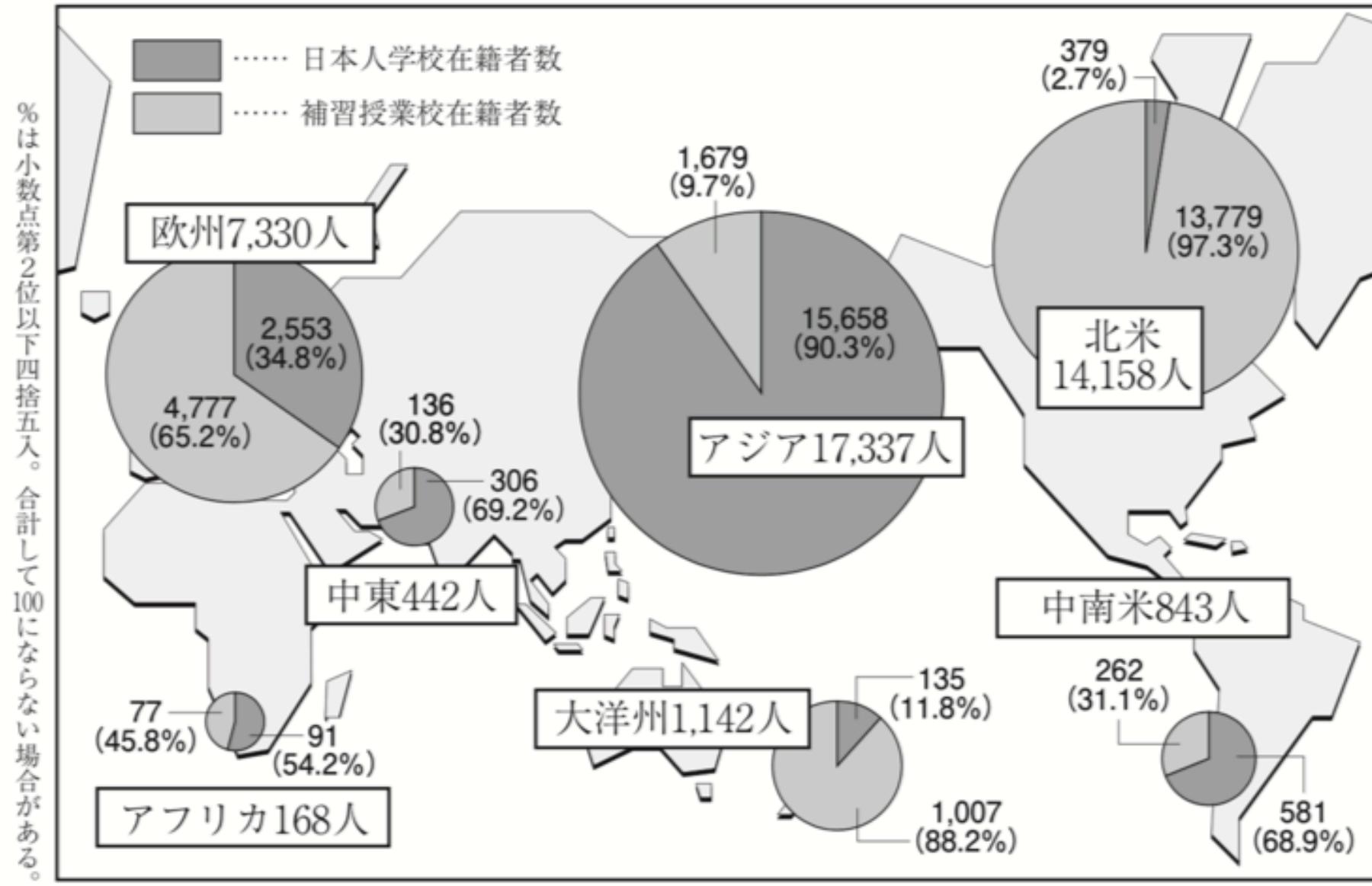
今後に向けて
2020年度の計画

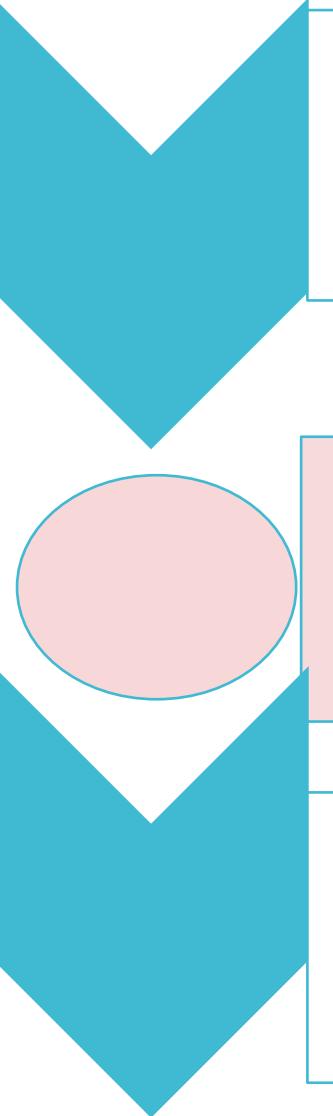
日本人学校・ 補習授業校の 就学状況

2019年4月15日現在
41420人

グラフ2

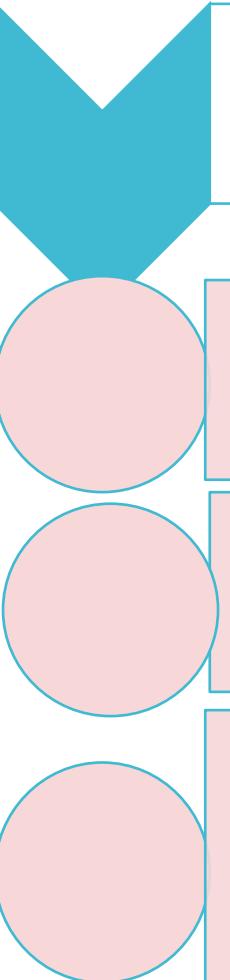
2019年度在留邦人子女の日本人学校・補習授業校の地域別就学状況



- 
- ・長期滞在家庭・国際結婚家庭の子供の増加

- ・日本語力は十分でなくとも母語の力は高い傾向にある。
- ・両言語を伸ばす取り組みが有効。

- ・児童生徒に対する日本語支援や学習支援



児童生徒に対する日本語支援や学習支援→強みを 生かす指導・支援

日本の学習内容を支える経験は少ないが、現地での経験や知識がある

バイカルチュラルの視点を取り入れることが可能。

自己肯定感を高め自信へ。多様な見方・価値観との出会いが、全ての子供たちにプラスに。

日本人学校に就学する子どもたちへの期待

- 長期滞在家庭・国際結婚家庭の子供の増加
- 児童生徒に対する日本語支援や学習支援
- バイリンガル・バイカルチュラルの強みを生かす学び→全ての子どもたちにプラスに
- 将来国内外をつなぐ架け橋となる人材へ成長

在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業

AG5（在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業）

日本語力向上プログラム

2017～2018年度事業

日本人学校におけるグローバル人材の基礎的資質形成のためのプログラム開発
香港日本人学校香港校小学部

日本人学校における日本語指導プログラムの開発
台北、台中、高雄日本人学校

補習授業校における日本語能力向上のための総合的なプログラム開発
ダラス補習授業校

南米日本人コミュニティにおける日本型教育・日本語教育のプログラム開発
アスンシオン日本人学校

学校図書館を活用した日本文化等の発信のためのプログラム開発
西大和学園カリフォルニア校

2107年度のみ

日本人学校における教員（学校採用教員）の指導力向上のためのプログラム開発
上海日本人学校

これまでの成果

高度グローバル人材とは

- エリート型人材（グローバル型能力、英語力を兼ね備えた人材）
- 高度バイリンガル、バイカルチュラル人材（日本語能力+英語・中国語能力を持ち、二つの国との架け橋になる人材）
- グローカル型人材（世界各国の日本人コミュニティにおけるリーダとなる人材）
- 親日的人材（日本社会・文化、日本語を理解し、日本を支援する人材）

より高度グローバル人材育成という視点に焦点化

それにプラスして以下の視点からの取り組みを支援

- 先進的・先端的取り組み（ICT等）
- 在外教育施設ならではの取り組み
- 現地コミュニティへの貢献

2019年度事業

香港日本人学校

- グローバルクラスの支援
- 算数・理科のイマージョン、グローバルスタディーズのカリキュラム開発
- 教員の研修事業

台湾日本人学校

- 取り出しによる日本語指導プログラムの開発、在籍学級における日本語指導プログラムの開発支援
- 高雄日本人学校における中国語と日本語の相互乗り入れ授業の支援

ダラス補習授業校

- 日本語力育成のための総合的なカリキュラム開発と補習授業校間を結んだ共同実践
- ICTを活用した高度グローバル人材育成につながる高等部の学習プログラムの開発

アスンシオン日本人学校

- 日本人学校が拠点になり、日本語学校、パラグアイ学院の支援を行う。
- 日本型教育・日本文化（国語の指導法、理科の授業、音楽、武道等）の発信、普及
- 新しい教材の提供、日系人の子供向けの教材開発

西大和学園カリフォルニア校

- 移動図書館による読み聞かせ
- 日本語を第二言語として指導している教員のための教材リソースの整備
- 中学生を対象とした日系人の歴史を学習するための資料の整備

上海日本人学校

- 初任者研修ハンドブックの開発・配布

日本人学校におけるグローバル能力育成のためのプログラム開発

香港日本人学校香港校への継続支援
シンガポール日本人学校
パリ日本人学校

日本人学校におけるバイリンガル・バイカルチュラル人材育成のためのプログラム開発

台北、台中、高雄日本人学校

マニラ日本人学校

大連日本人学校

青島日本人学校

補習授業校におけるバイリンガル・バイカルチュラル人材育成のためのプログラム開発

ダラス補習授業校への継続的支援
補習授業校のコンソーシアムの構築

南米日本人コミュニティにおける日本型教育・日本語教育の発信・普及のためのプログラム開発

アスンシオン日本人学校への継続支援

学校図書館を活用した日本文化等の発信のためのプログラム開発
西大和学園カリフォルニア校への継続支援

新規事業

規模の異なる学校間でのICTを活用した遠隔での教員研修および授業実践のプログラム開発

メキシコ・サン・ホセ・サンパウロ・リオ・デ・ジャネイロ日本人学校

これまでの 取組①

・2017～2019年度
台北日本人学校
台中日本人学校

教科の指導と関連づけた日本語指導
日本語と教科の統合学習(JSLカリキュラム)の視点を取り入れた指導計画

台北日本人学校

小学1・2年生を対象とした日本語補習授業
のプログラム開発。

開発したプログラムの活動案を検証。

日本語補習授業活動案の検証



4分。

3. ワークシートに学習のまとめを書く。

この部分は一緒に書きながら、ワークシートではなくまとめました。

- 2で発表した図形の性質をワークシートに記入させる。

- 大事なことだけ□に記入できるようなワークシートを作成する。

例：正方形は4本の□の長さが等しいです。

- 教科学習言語にはルビをふって、児童が読み方を忘れててもいつでも分かるように支援する。

- 正方形、長方形、直角三角形の形から相違点を見つけるのはむずかしい。(時間がかかる)なので、それぞれの形の特徴をおさえてからこちらにしました。
- 辺、頂点、角のおさえが不充分だったので、ゆっくりそこから始めました。

ワーク。

台北日本人学校の成果

- 語彙力チェックを用いた個人のレベルのチェックを参考に、グループ分けを行うことができた。
- DLA評価参照枠で、個人の日本語力の伸びが可視化できた。
- 日本語補習の柱となる活動案が完成。
- 先行型の日本語補習を行うことで、在籍クラスの学習効果を確認できた。

台中日本人学校

- 在籍クラス用の日本語指導(手立て)の指導案集の作成。
- 日本語指導の視点の指導案の書き方マニュアルの作成。

指導計画形式

対象児の実態

クラスの実態

- ・15人中、9人が日台家庭で、家で中国語を使う児童が多い。語彙に乏しく、初めて読む文章が拾い読みである児童も少なくない。また、意味を理解できずに読んでいることが多い。

対象児の様子／予想されるつまずき

- ・語彙が非常に乏しい。指示や説明を正確に聞き取れず行動が遅れてしまう。
 - ・文章問題の読み解きが困難な場面があるため、図で提示したり、別な言葉で説明する必要がある。

DLA採点表<全体評価>(9月)



個別支援の視点・方

	理解支援
	言い換える
○	視覚化する
	例示・比喩・対
○	明示する
	簡略化・整理・
	既有知識の活

支援後のDLA採点表

	DLA(話す)		
ステージ	文・段落の質	文法的正確度	語彙
新の内容とまとまり			

- ## 1. 単元名 速さの表し方を考えよう

2. 単元の目標 速さについて理解するとともに、求めることができるようになり、生活や学習に活用する能力を伸ばす。

- ### 3. 単元計画と対話的活動の場面

- ①単位量当たりの考え方を使った速さの比べ方を説明し合う。
 - ②速さ・道のり・時間を求める公式の意味を説明し合う。(本時)
 - ③時間を分数で表し、速さを求める方法を考える。
 - ④時間と道のりの関係は比例であることを確かめ、定着・習熟をはかる。

- #### 4. 本時の目標

速さと道のりから時間を求める方法について理解する。

5. 本時の展開(6/11) 【理】理解支援 【表】表現支援 【記】記憶支援 【自】自律支援 【情】情意支援

台中日本人学校の成果

- 担任による日本語指導体制の確立
- 日本語支援における視点の明確化
- 共通理解による指導力向上

これまでの 取組②

- 2019年度～
 - マニラ日本人学校
 - 大連日本人学校
 - 青島日本人学校
- 日本人学校の新たな日本語教育への挑戦
- 総合学習型日本語指導
- バイリンガル・バイカルチュラルの視点を重視した学習活動

マニラ日本人学校

- ・小1～3（後期）日本語学級の指導計画作成。
- ・在籍学級での学習活動例を作成。
- ・日本人学校合同研究会の実施。

日本語学級の指導計画

学年：(2) 学年 (児童に実態：移行期) 指導時間：金曜日 14:25~15:05

月	日	トピック	関連する教科・単元	マニラのくらし・行事 日本のくらし・行事	内容
10	4 11 18	お手紙を書こう	国語「お手紙」「主語と述語」 算数「形を しらべよう」 生活「文しゅうマニラ」	秋祭り（日本） ハロウィン（フィリピン） バス避難訓練	手紙書いてとどけよう（お手紙） 見つけたことを書こう（主語・述語） 原稿用紙の使い方をしろう
11	8 15 22 29	分かりやすくせつめいしよう	国語「おもちゃの作り方」 生活「げん地校とこうりゅうしよう」（スポーツ交流） 算数「九九をつくろう」 国語「あったらいいな、こんなもの」	七五三・紅葉狩り（日本） 現地校交流会（スポーツ交流）	うごくおもちゃの作り方を書こう・話す 九九のしくみをつたえよう。 あったらいいなと思うものを書こう
12	6	はっぴょう会をひらこう	国語「あったらいいな、こんなもの」	クリスマス（日本・フィリピン） 終業式	「あったらいいな」と思うものをはっぴょうしよう
1	17 24	日本のおそびをたのしもう	国語「おにごっこ」 生活「げん地校とこうりゅうしよう」	正月（日本） 新年（日本）	あそんだことを話そう おにごっこのおそび方をくふうしよう

第1学年 日本語学級「じどう車くらべ」(11月 3時間)



フィリピンのおもちゃの自動車を操作することで
学びを支える

トピックのねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自動車を用いた、たし算やひき算の話作りを通して難易度の高い加減計算の文章問題に慣れ親しむことができるようとする（算数） ○ 半具体物であるおもちゃの車（はたらく車）を用いて「しごと」や「つくり」に着目して観察したり、比べたりすることにより、実感を伴った文章理解ができるようとする。（国語）また、「そのために」という言葉に注目させ、文章の構成のパターンを捉えられるようとする。（国語）
日本語の目標	「〇〇は、～なしごとをしています。」「そのために」「～なつくりになっています。」のパターンを用いて、説明ができるようとする。
関連	教科・単元 国語：「じどう車くらべ」 算数：たしざん・ひきざん（もんだいづくり）
	くらし・行事 スクールバス・ジプニー・トライシクル
主な学習活動	<ol style="list-style-type: none"> ① 自動車を題材にした、たし算・ひき算の話作り（問題作り）をする。 ② 国語教材「じどう車くらべ」を読みながら、繰り返し出てくる同じ言葉探しをする。 ③ おもちゃの車（はたらく車）と教科書本文と結びつけながら、しごと・つくり調べをする。

教材・教具等　自動車のおもちゃ

授業展開(フィリピン国　例)

時間		指導のポイント 支援「〇日本語 ◇教科 *バイカルチュラル視点」	関連
	ウォーミングアップ おもちゃの自動車や画像を用いて名前当てクイズをする。	(先行学習が望ましい)	国語「じ

公開授業から

学年	授業者	単元名
5年	渡邊 花穂	より豊かなフィリピンへ
1年	三好 豪	これはなんでしょう
2年	田中 亜紀	2年生の思い出ごろく
3年	加藤 寧	ことわざについて調べよう

- ・授業者から、子供たちの変容や成長ぶり、取り組んだ教師自身の気付きなど、一言ずつコメントをいただきます。

マニラ日本人学校の成果

- 日本語による発話が増え、表現力が向上。
- 在籍学級の教科学習に意欲的に参加。
- 教科学習のテストでも成績が上昇。
- 在籍学級の子供にも楽しく学べる学習展開。

- 教員研修や授業実践を通し、先生方の意識が変化。
- 歸国後の外国人児童生徒等教育にも目を向けた、積極的な取組。

大連日本人学校

- 在籍学級での効果的な指導計画・方法・教材等を作成
- 校内研修にも位置付けた授業実践。



1年生 国語科での対話

(1) 在籍学級における日本語支援

◇朝学習＝教科学習と関連付けた内容

◇視覚的アプローチ＝指示・情報資料など

(2) 日本語で考えや思いを適切に伝える表現力の育成

◇表現活動の充実＝書くこと・話すこと・話し合い等

◇思考の視覚化＝効果的な「対話」をめざす

(3) 自尊感情の伸長

◇道徳・特活の充実＝価値観の受容・自尊感情の伸長

◇コミュニケーションスキルの育成＝ピア・サポート等

大連日本人学校の成果

- 教科学習と関連させた朝学習により、学習言語力の向上。
- 対話による日本語の積極的な活用、定着、思考の深まり。
- 日本と中国の両方の良さを理解していることへの自信。将来への希望。

青島日本人学校



iPadで「大きい数」の学習



二胡の演奏（音楽科）

- ①課外の日本語教室
- ②個別の日本語指導
- ③在籍級での日本語指導
- ④全学年での
バイカルチュラルの
視点からの教科指導



在籍学級担任と連携し、
教科内容の先行・補充
学習を重点に支援

多方面から日本語指導
にあたり、教職員全員
でバイカルチュラル人
材の育成に取り組む

青島日本人学校の成果

- 教科書の物語文や説明文の理解ができている。
- 言葉による置き換えが可能（「えものをとる」 ⇒ 「かりをする」）
- 物語のすきなところを日本語で言ったり、中国語で説明したりすることができている。
- 学校からの連絡を、家族に中国語で説明できる。
簡単な文章を作文することができる。
- 物事を多面的・複眼的に捉えることができる授業を計画・実践。

2019年度の 成果と課題

2019年度日本語力向上プログラム開発 の成果

- ・教科と関連づけた日本語指導により、日本語力が向上。
- ・母語の力を活用したり、バイカルチュラルの視点を取り入れたりすることで、日本語での表現力が向上。自尊感情や自己肯定感も高まる。
- ・他の子供たちにとっても魅力的な学習活動の展開。

- ・各校で作成したプログラムを参考にしつつ、それぞれの日本人学校の特色を生かした指導・支援を展開。
- ・子供たちの変化や指導の手応えから、先生方や保護者の意識も変化。

今後の課題

今後の課題

- 汎用性のある日本語力向上プログラムの作成・公開。
- 日本人学校間や国内外の学校とのネットワーキング。
- 各地域での特色を生かした実践の共有。

今後に向けて 2020年度の計 画

マニラ日本人学校

小1～3（前期）日本語学級の指導計画作成。
小4～6までの在籍学級での効果的な指導計画を作成。

日本語指導プログラム開発の拠点として合同研究会の開催。

※ 台北・台中日本人学校のプログラム開発は本年度で終了

今後に向けて
2020年度の計
画

大連日本人学校

前年度で作成した指導計画・方法・教材等の実践を行い、より効果的なプログラムを開発。
WEB等で公開。

今後に向けて 2020年度の計 画

青島日本人学校

中学部「日本語取り出し指導」の個別の指導計画を作成。

学校全体で国際理解、多文化共生を行うための学校用のマニュアルを作成。

今後に向けて

2020年度の予定

大連・青島日本人学校
の素晴らしい取組を
紹介します

- I. 情報交換会の開催 (Zoom会議)
- II. マニラ・大連・青島日本人学校におけるプロ
グラム開発とWEBでの公開。
- III. 合同研究会の開催 (マニラ会場・Zoom会場)

ネットワークを力に、
バイリンガル・バイカルチュラルの子供、グローバル人
材として活躍できる子供を育てるチャレンジを！



ご清聴ありがとうございました。